

1. 件名：柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉における基準地震動の変更が不要である説明文書に関する面談について
2. 日時：令和3年6月7日(月)13時30分～14時50分
3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室
4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）
原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門
内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、西来技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与
原子力規制庁 長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
呉統括技術研究調査官、田島技術研究調査官※
東京電力ホールディングス株式会社
原子力設備管理部 土木総括担当部 部長 他6名※
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 提出資料
〔東京電力ホールディングス当日提出資料〕
 - ・ 柏崎刈羽原子力発電所における基準地震動の変更が不要であることの説明について〔参考資料：東京電力ホールディングス既提出資料〕
 - ・ 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈等の一部改正に係る対応について（指示）（2021年4月26日発信）」に対して提出された文書
「柏崎刈羽原子力発電所における基準地震動の変更が不要であることの説明する文書の提出について」
URL：<https://www.nsr.go.jp/data/000352479.pdf>

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁の谷です。
0:00:05	もう時間になりましたので、面談を始めたいと思います。面談の内容としては、
0:00:12	柏崎刈羽原子力発電所における基準地震動の変更が不要であることの説明についてということさせていただきます。まず資料のほう、事業者さんのほうから説明をお願いいたします。
0:00:28	はい、東京電力スギモトです。それではお手元でございます。上と柏崎刈羽原子力発電所における基準地震動の変更が不要であることの説明についてという資料についてご説明をさせていただきます。
0:00:43	やっとなりに資料の構成のほう御説明しておきますけれども、本編の内容がですね、右下のページ番号 1 ページ目から 7 ページ目までが本編の内容になっておりまして、それから 8 ページ目以降、こちら補足説明資料といたします。
0:01:03	で、今回の標準応答スペクトルに基づく評価に用いる地下構造モデルの設定についてという形でご説明をさせていただきます。御説明のほう講師で最後の行まで御説明させていただきますので、ちょっとこの後、ご審議をいただくという形にさせていただければと思います。
0:01:22	それでは早速 1 ページ目から御説明をさせていただきます。
0:01:27	1 ページ目は本説明の概要となっておりますので、標準応答スペクトルのほうが新たに規定されまして、
0:01:35	柏崎におきましては、この標準応答スペクトルに基づく解放基盤表面における置ける音スペクトルの評価結果えっとこちらが
0:01:47	2017 年 12 月 27 日にすでに許可をいただいております基準地震動を下回ることを確認したということで、本改正に係る基準地震動の変更が不要であることを説明するものになってございます。
0:02:02	次 2 ページ目にいっていただきまして、
0:02:05	2 ページ目にはこのすでに許可をいただいた基準地震動の概要のほうを整理してございます。
0:02:14	一通り御説明をさせていただきたいと思いますが、柴崎におきましては、敷地における地震班の伝播特性を踏まえまして、1 から 4 号炉がつかわのえっと荒浜側それから 5 から 7 号炉側の大湊側、それぞれの領域に分けまして基準地震動を策定してございます。
0:02:34	この中で敷地ごとに震源を特定して策定する地震動のほうは基準地震動も S_s 1 から 7 まで 7 策定をしてございますけれども、
0:02:45	この評価の中では 1 における地震電波トップを適切に反映するために、地震観測記録に基づく評価を行ってございます。

0:02:54	具体的には応答スペクトルに基づく地震動評価につきましては、観測記録に基づく補正係数を
0:03:02	考慮しまして評価を行ってございます。
0:03:06	それから断層モデルを用いた手法による地震動評価につきましては、敷地で得られた観測記録を要素地震として用いまして、経験的グリーン関数法を用いて評価を行ってございます。
0:03:19	最大加速度っていうのは単にあの一覧表を示してございますが、基準地震度の検討用地震としては二つですね、FB断層による地震と長岡部屋西縁断層隊による地震ということで、どちらも月1近傍に位置する断層を対象に、
0:03:37	あと地震動評価を行って基準地震動を策定しているものでございます。
0:03:43	一方ですね震源を特定せず策定する地震動につきましては、これはSs8として、大湊側のみ策定をするということをしてございます。
0:03:55	尊厳を特定せず策定する地震動については、この留萌の地震につきまして、
0:04:00	エネット港町観測点の基盤と敷地の解放基盤表面の地盤物性の相違による影響を考慮しまして、
0:04:09	一次元地下構造モデルを用いた調査重複反射理論に基づく評価を行ってございます。
0:04:16	このようにして保守性も考慮して発表しました震源を特定せず、合併する地震動が、
0:04:24	どう荒浜側においては、基準地震動ⅠからⅦのaと震源を特定して策定する知多あの基準地震動のほうを下回るということを確認しましたので、
0:04:35	こちらF1から7ページ代表させるということをしてございます。
0:04:41	一方、大湊側につきましては、この留萌を考慮した震源を特定せず策定する地震動のほうがSs1から7を一部の周期体で上回ったということでしたので、これを
0:04:55	Ss8として策定するということをやってございます。今回表情とスペクトルは、この留萌と並列する形で、両方の知見を考慮してするということになりますので、ここでの留萌の検討との整合性と。
0:05:12	いうことを重視しまして評価を行う。ここで整合が生じないように強化を行うという観点から評価を行ってございます。
0:05:22	次3ページ目をお願いいたします。
0:05:25	こちらが今回あの標準応答スペクトルに基づく評価ということで、この方針をお示しさせていただいているものでございます。
0:05:33	今申し上げました通り教条こうスペクトルに基づく解放基盤表面における応答スペクトルの評価をする上では時許可での基準地震動における震源を特定せ

	ず策定する地震動の評価と同様にしまして、敷地の解放基盤表面との地盤物性の相違における影響等を考慮し、
0:05:53	まして、一次元地下構造モデルを持っていた特区反射理論に基づいて評価を行います。
0:05:59	その中での留意点としまして2点、重要だと考えているポイントが下の小さい丸ポツでお示しておりますけれども、
0:06:08	まず表情とスペクトルはS波速度が2200以上の地震基盤相当面で策定されているということでございまして、これは留萌の地震の時に一定ネット港町観測点の基盤に対する検討。
0:06:23	これはVsが938でしたけれども、これとはの検討の条件が異なるということに留意する必要があるというふうに考えてございます。
0:06:33	それからもう1点ですね標準応答スペクトルは多数の観測記録に基づいて策定された音スペクトルですので、
0:06:41	この観測記録の再現性というのを重視して妥当性を確認した一次元地下構造モデルを用いて解放基盤表面の地震動評価する必要があるというふうに考えてございます。
0:06:55	これらの点を踏まえましてですね、柏崎刈羽の敷地においてはですね。
0:07:00	荒浜側と大湊かはこれそれぞれ大深度ボーリング調査によるPS検層結果ですとか、
0:07:07	それから大深度地震観測による地震観測記録の蓄積というものを継続して行ってきておりますので、
0:07:15	サポートに関しても新たなデータを取得している状況にございます。
0:07:19	これらの開示の知見を活用することにより、従来よりも深部まで信頼性を高めたとか構造モデルを構築できるというふうに考えますので、今回の評価に当たりましては1時間一次元地下構造モデルを改めて構築して持っている。
0:07:35	いうことを考えてございます。
0:07:38	タニ大深度地震観測の1とですね、進路方向を示させていただいておりますけれども、
0:07:45	荒浜側では深度1000m、大湊側では約1500mの大深度地震観測を開始しておりますので、
0:07:54	観測記録を蓄積している状況にあるということでございます。
0:08:00	続いて4ページ目、お願いいたします。
0:08:03	こちら、ここから評価のほうに入って参りますけれども、
0:08:09	今回

0:08:11	そういった観点で改めて地下構造モデルを策定しまして今回評価に用いるモデルがこちらになります。
0:08:19	詳細につきましては先ほど申し上げたように 8 ページ以降に、その設定と妥当性の検証ということでお示しておりますので、改めて御説明をさせていただきたいと思っておりますけれども、ポイントとしましては、
0:08:34	同定手法としましては、敷地における水平アレイ地震観測点の位置で現地下構造モデルの評価で用時実績すでに審査のほうでPTを実績のある梅田コバヤシの手法に基づきまして、即記録をターゲットとした逆解析によって荒浜側大湊側それぞれ
0:08:52	このモデルを記さ逆解析により同定して評価をしてございます。
0:08:58	その評価した地下構造モデルにつきまして、大深度ボーリングのPS検層結果ですとか、
0:09:04	それから大深度地震観測記録の再現性といったもので妥当性のほうを検証してございます。
0:09:13	設定したモデルが下に荒浜側大湊側それぞれ期待してございますけれども、今回の標準応答スペクトルのページに行きましては、とVs2200 を上回る層ということで、こちら荒浜側大湊側共通ですけれども、
0:09:31	Vs2350 メーター/secの層がございまして、こちらの上面に標準応答スペクトルに適合した時刻歴発見を入力して評価を行う。
0:09:44	評価を行ってございます。
0:09:47	次 5 ページ目、お願いいたします。
0:09:50	5 ページ主な評価に用いた時刻歴は系の作成ということで、ここでは
0:09:58	2350 のほうからと解放基盤に引き上げるために 6 反射理論に基づく評価を行うために何らか時刻歴は径が必要ということになりますので、これも今まで審査で実績のございますが、あの一件を乱数の位相有する正弦半の重ね合わせと。
0:10:16	ということで作成して評価を行ってございます。
0:10:21	条件等策定した波についてはお示しをしている通りでございます。
0:10:28	これをもちまして評価をした結果が得と 6 ページ目になります。繰り返しになりますけれども、
0:10:35	地下構造モデルのVs2350 の層の上面に 5 ページ目でお示しました時刻歴発見を入力しまして、
0:10:44	敷地の解放基盤表面の方に得る
0:10:52	音スペクトルを評価してございます。その結果が荒浜側大湊側を鉛直方向水平方向ということで、それぞれお示しをしております。

0:11:04	7 ページ目にいていただきまして、これが最後の比較の絵になりますけれども、
0:11:12	荒浜側大湊側先ほど 6 ページ目にお示した評価結果。
0:11:17	あと、
0:11:18	すでに許可をいただいております Ss-1 から 7 ね大湊側につきましては、留萌の考慮主体性 38 ということでございますが、こちらとあわせて比較をさせていただきます。
0:11:33	評価結果が赤の線、許可の基準地震動がグレーの線で重ねて書いてございますけれども、こちら御確認いただきます。お荒浜側大湊側で水平方向鉛直方向それぞれですね。
0:11:48	許可の基準地震動を、
0:11:51	標準応答スペクトルに基づく評価結果赤の線が下回るということを御確認いただけるかと思えます。
0:11:58	また
0:12:00	留萌の地震との比較ということで、
0:12:05	余剰とスペクトル策定いただきまして、規程に取り入れるという議論の中でも
0:12:11	留萌の地震と標準応答スペクトルの地震動レベルが大きく異なるものではないとそれは地震基盤相当面での議論というふうに理解をしておりますが、
0:12:21	その関係が敷地の解放基盤表面においても、そういったことは、
0:12:28	継続されているとかそこにそごがないっていうのがあると考えますので、そういった確認もあわせて行ってございます。それが黒の
0:12:38	おい黒の線と今回の赤の線が比較ということになりますけれども、特に短周期側ですねにつきましては地震動レベルについて大きな差がないことを確認してございます。
0:12:50	でも、留萌のスペクトルで特徴的なこの 0.2 秒から 0.5 秒辺りのピークについては、留萌のほうが上回るということでございますけれども、こちらも検討チームですとかで議論された内容と整合するものだというふうに考えてございます。
0:13:08	以上、評価結果を見ましても、許可の基準地震動に影響するものではない。
0:13:15	いうふうに判断をさせていただきますので、柏崎刈羽においては、
0:13:20	本件の改正に係る基準地震動の変更は不要であるというふうに考えてございます。
0:13:26	本編としての御説明は以上となりまして、以降 8 ページ目、一方からですね補足説明資料ということで、地下構造モデルの設定について詳細を御説明申し上げたいと思えます。

0:13:41	9 ページ目をお願いしますと 9 ページ目が地下構造モデルの設定方針と
0:13:48	いうことで評価の基準のほうをお示しさせていただいております。
0:13:56	手法としましては先ほど申し上げましたように、許可の審査の中で適用実績も ございます。梅田コバヤシ 2010 の手法に基づきまして、
0:14:05	具体的にはハブHオーバーVスペクトル比、それからレシーバー関数に加えま して、ダム影響バブルスペクトル比の三つをターゲットとしました当時やっぱり 堰によりまして、
0:14:18	地震基盤までの地下構造モデルを評価してございます。
0:14:23	この評価した地下構造モデルに対しまして、大深度ボーリングのPS検層結果 等の整合性ですとか、
0:14:32	大深度地震観測記録の再現性を確認して、その妥当性を検証していると。
0:14:37	いうものでございます。
0:14:39	下の絵と 9 ページ目の下のほうの絵のほうですねポイントとなる点御説明を させていただきますが、まず解析の条件一番左側ですけれども、地表からマイ ナス 250 から 300mまでの浅部につきましては、
0:14:57	こちらはこれまで剥ぎ取り解析に持って行ってきている地下構造モデルがござ いますのでそちらで値を固定すると、そこからSTARー深度につきまして、今 回改めて同定を行っているというものでございます。
0:15:12	到底の探索範囲につきましては、大深度PS検層結果等を参考に設定をして ございます。
0:15:19	その探索範囲に対しましてターゲットとしたのが三つの指標ということで、観測 記録に整合するように入れてくやアルゴリズムをとって行ってございます。
0:15:34	その後ですねその同定されたモデルに対しまして、Es検層結果ですとか、当 二次元地下構造モデルの速度構造、
0:15:44	この比較で整合していることを確認すると。
0:15:48	いうことを行った上で大深度地震観測記録を用いまして、
0:15:53	送信部からの増幅に関する伝達関数を観測と、
0:16:00	えっと同定した地下構造モデルで比較をすると、さらにそれを使いまして、大深 度地震観測記録を地盤モデルを使ってシミュレーション解析を行ってその再現 性を確認すると。
0:16:13	そういった手順データと性を確認してございます。
0:16:17	具体的な内容がこの後 10 ページ目以降になりますけれども、
0:16:22	あと 10 ページ目でお示しているのは逆解析のターゲットとして用いた観測記 録。
0:16:28	いうことでございまして、

0:16:30	P波部H/Vスペクトル比とレシーバー関数につきましてはSN比がよくいは初動が起動されておりまして、市民の距離が同程度となる地震を集めまして、こちらを用いている。
0:16:45	それからWHOパブリック取引につきましては表面歯が十分に含まれている心配事で、これはまた別に
0:16:53	地震を選定して強化を行ってございます。
0:16:57	選定した地震がえ等に示してございます。
0:17:03	続いて 11 ページ目をお願いいたします。
0:17:06	11 ページ目が、
0:17:09	探索範囲を御説明したのになります。
0:17:13	逆解析につきましては遺伝的アドアルゴリズムを用いまして、高圧S波P波速度、それから現類を三つとして探査を行ってございます。
0:17:25	範囲につきましては、先ほど申し上げましたが、大深度ポーリングのPS検層結果ですとか、反射法に基づきます二次元地下構造モデルを参考に探索範囲を設定してございます。
0:17:39	どう具体的に探索した場合につきましてはこちら御示している表のピンクで囲っている部分ということになります。
0:17:47	12 ページ目にいっていただきまして、12 ページ目のほうが洞道提示した地盤モデルの結果ということになります。
0:17:56	想定した値が上の表にありまして、
0:18:02	それぞれの観測記録と理論のフィッティングの状況を下に示してございます。
0:18:10	ええとP波部HオーバーVそれからレシーバ関数につきましては非常に良好なフィッティングということで確認してございます。
0:18:19	またポータブルの一応額につきましては、特にその深部のところの精度を高めるために持っていつているということもございまして、特に
0:18:29	へえ周波数側の位置でのピークのところに着目しておりますけれども、この再現性も非常に多いと。
0:18:38	いうことを確認してございまして、
0:18:40	逆解析によって、地下構造モデルの同定が適切に行われているということを確認してございます。
0:18:49	次 13 ページ目にいっていただきまして、この同定した江藤モデルの速度構造につきまして、
0:18:57	Yes検討結果、それから反射法を反映した二次元地下構造モデル。
0:19:02	のうちへと二次元地下構造モデルから評価の対象となる鉛直アレイ地震観測点について抽出しました一次元の速度構造、

0:19:12	との比較を示しております。
0:19:15	ですので赤い部分につきましてはPS検層結果との比較を重視していると。
0:19:21	ということで左側になりますけれども、PS検層結果ともよく整合していると。
0:19:28	それから、深部のほうにつきましては右側の絵と二次元地下構造モデルとの比較ということで、こちらも速度それから層境界につきまして良く整合しているということを確認してございます。
0:19:42	続いて 14 ページ目にいっていただきまして、ここからが大深度地震観測記録を用いた妥当性の検証ということになります。
0:19:52	まずは観測記録の伝達関数と地下構造モデルの理論伝達関数の整合について確認しているものがこちら 14 ページ目になりますけれども、
0:20:05	比較に用いた観測記録につきましては、2021 年 3 月までに敷地周辺の 100km 以内で停止した M3.5 以上の地震ということで左上の表にお示しておりますけれども、
0:20:21	12 の地震を使って評価をしてございます。
0:20:26	観測記録の伝達関数と地下構造モデルの伝達関数を比較したものが右下前になりますけれども、
0:20:34	と黒の観測記録に対して、
0:20:38	赤の理論伝達関数が非常によく対応していると。
0:20:43	ということで、
0:20:45	実際の観測記録の伝達関数をよく再現しているということを確認してございます。
0:20:53	次 15 ページ目にいただきまして、今の伝達関数の確認を踏まえまして、具体的にひとつの地震一番規模の大きいですよ選びまして、
0:21:07	大振動の記録を使っ構造モデルを使って重複理論に基づくシミュレーションを行いまして、
0:21:14	いや、実際に引き上げて、この時点での観測記録の応答スペクトルと比較をしたと。
0:21:22	いうものが 15 ページ目になりますけれども、
0:21:25	こちらご確認いただきまして、荒浜側大湊側、それから水平方向鉛直方向それぞれでシミュレーションを行った赤の線はへと黒の観測記録を良好に再現できているということを確認してございます。
0:21:42	以上のような一連の妥当性の検証を踏まえまして、
0:21:47	今回
0:21:50	標準応答スペクトルの評価に持っていました地下構造モデルにつきましては、観測記録を敷地での観測記録をしっかりと説明できるモデルであると。

0:22:01	いうことを確認してございますので、こちらを用いて評価を行ったということになります。
0:22:09	最後 16 ページ目ですね、こちらで
0:22:14	許可の基準地震動への影響確認ということで、今回その設定したモデルが日許可今までの審査の
0:22:24	中に影響がないかという確認をしてございます。
0:22:28	まず震源を特定してパック呈する方につきましては冒頭申し上げました通り柴崎刈羽では経験的グリーン関数法による評価を行ってございますので、
0:22:40	基準地震動の評価においては次は特定してのほうではモデルを使っていないということで、
0:22:46	影響はないものと考えてございます。
0:22:50	一方で震源を特定せず策定する地震動の評価では、これも冒頭申し上げましたけれども、留萌の評価においてまして、
0:22:58	港町観測点の基盤と敷地の解放基盤表面の地盤物性の相違を考慮する際に、今回と同じように地下構造モデルを用いた評価というものを行ってますので、
0:23:10	そこでの整合確認するために、
0:23:14	今回、
0:23:16	決定しました地下構造モデルを持って行って、留萌の評価をもう一度やってみた場合にどうかと。
0:23:22	いう確認を行ってございます。
0:23:25	具体的には左下にございます。
0:23:29	今回設定した地下構造モデルで、
0:23:32	鉄塔留萌の港町観測点の基盤層、 V_s938 に近い
0:23:38	等をこの敷地のモデルにおきましては V_s960 の層の上面です。
0:23:45	こちらに不確かさを考慮した港町観測点の基盤地震動入力しまして評価を行ってございます。
0:23:53	で、従来の評価結果と今回の評価結果、それから、従来の評価結果に保守性を考慮しまして最終的に確定している基準地震動 S_s 時のこの三つを、
0:24:05	兼松て右下の絵でお示しをしております。
0:24:09	非常にかかったなっているということで強化が全く変わっていないということは御理解いただけるかと思えますけれども、
0:24:17	今回の評価結果につきましては従来の評価結果とほぼ変わっておりませんで、

0:24:23	最終的に評価しております基準地震動Ssハッチこれに対しては全周期で下回っていることを確認してございますので、今回設定した地下構造モデルを用いて留萌の評価を行った場合でも、
0:24:38	基準地震動Ssハッチに与える影響はないと。
0:24:41	いうことを確認しているということでございます。
0:24:45	ちょっと説明のほうは以上になります。
0:24:52	規制庁タニです。この説明ありがとうございました。
0:24:56	ちょっとそれではの資料のほう、
0:25:01	考え方と確認させていただこうと思います。
0:25:11	まず、ちょっと私のほうからですがけれども、
0:25:16	これ今回地下構造モデルを更新していると。
0:25:20	いうことで説明があるんですけども、その理由。
0:25:26	もう
0:25:27	新しい知見をちゃんと活用してっていうようなことが書かれているんですけども、
0:25:36	既許可のモデルとかでは、これは漆器試計算みたいなこととかは特にされていないんですか。もう最初からこれもモデルかえたもので評価をされている。
0:25:51	てことですよ。
0:25:55	電力スギモトでございます。おっしゃる通りの状況でして今回はこの標準応答スペクトルというも新たな知見に対する評価でもありますので、そういう意味で今回の評価において最も最適なモデルを用いるべきだろうと。
0:26:11	いう観点から、これに加えて仰っていただきますとおり、新たな知見も蓄積しているという状況ですのでそちらを用いて評価を行ったということでございます。その趣旨としてはやっぱりですね観測記録がその深いところから得られております。
0:26:31	それに最も整合するモデルを使うべきだろうというふうにして考えて今回評価をしているということでございます。
0:26:42	はい、規制庁谷です。
0:26:44	ですねその辺の何ていうんですかね。
0:26:49	新しい知見っていうのが具体的に
0:26:55	結局あの時ではそういった記録がなかったんだけどっていう話なんですか。
0:27:08	東京電力スギモトでございます。今回そのカッター大深度地震観測記録の表を14ページ目の左上の表にお示しておりますけれども、

0:27:20	一部許可の審査機関にも入るものがございますけれども、こちらで12番まで最新のものまで地震観測記録を使って評価を行っておりますので、こちらは2020年7月の記録まで検討としては含めておりますので、
0:27:36	そういったところで新しい記録を使っているということでございます。
0:27:42	はい規制庁谷です。はい、その確認できました。特にだから新しい知見っていうのは、この14ページ。
0:27:50	が主なところってことですかね。
0:27:56	東京電力スギモトですとですね14ページ目とあとは13ページ目の大深度ボーリングのPS検層結果というものもセットですけれども、こちらも新しい知見として発表させていただいております。
0:28:19	はい。事実関係確認できました。
0:28:38	規制庁タニです。あとですねちょっと資料で地下構造、
0:28:44	なんていうんですかね、ビフォーアフターがわかるようにちょっと資料をしていただきたいなと思うんですけど。
0:28:51	結局あの時の
0:28:54	地下構造モデルっていうのは、今、資料にはないですよ。
0:29:01	東京電力井本です。そうですね、おっしゃる通り、このモデルについてはお示ししてないですね。はい。
0:29:09	はい、お願いします。はい
0:29:13	趣旨承知いたしましたのでそちら追加するようにいたします。
0:29:18	はい、お願いします。
0:29:20	あとはですね、ちょっと
0:29:24	最終的な7ページです。
0:29:29	このね、
0:29:31	評価したものと、
0:29:35	既許可の基準地震動と比較してればあるんですけど。
0:29:40	これ御社の考えとしては、
0:29:44	Ss1からSs7の
0:29:48	努力が今回の標準応答スペクトルに基づく応答スペクトルもどれかが上回ってればいいっていう基本的な考え方でやってるってことでいいですかね。
0:30:01	例えばSs1が上回ってるとかそういう話じゃなくて7班のうちどれかが上回っているかどうかを見ているってことですか。
0:30:11	はい、東京電力スギモトです。基本的な考え方はおっしゃる通りで、こちらでも許可の基準地震動の時の留萌の評価の荒浜側のときに今まさにこういう示し方をさせていただいておりますので、

0:30:27	そこの整合を図る上で、同じようなお示しのさせ方をしているというところがございますけれども、基本的にはSF1 から 7 で一番大きいんなものを何でしょう包絡系といいますか。
0:30:44	それぞれの波の一番大きなところが耐震設計で考慮されているレベルだというふうには考えておりますので、それに対してどれだけ余裕があるかということで今回評価をしてございます。
0:30:57	はい、あの考え方を確認できました。
0:31:00	あとですねただこれちょっとですね。
0:31:03	どれがSsどれからSs1 でどれだけ努力がSs2 なのかがあってですね。
0:31:08	わかるようなもう
0:31:10	何か見せていただきたいなと思ってるのと、
0:31:14	あとこれ、
0:31:16	加速度の
0:31:17	応答スペクトルともう
0:31:20	見せていただきたいんですけどその辺は準備をお願いしていいですかね。
0:31:28	東京電カスギモトです。承知いたしましたのおっしゃる通りすべてグレーにしましておりますので、それぞれのSsが取りに対応するかどうかというのは判別できるようにというのと、加速度応答スペクトルでリニアの形でお示するというかですねあの取場ではなく、
0:31:46	加速度応答スペクトルでお示するというのでこちらを追加するように対応したいと思います。
0:31:56	タニですはいお願いいたします。
0:32:19	規制庁タニです引き続きですけれども、
0:32:24	えっとですね。
0:32:26	これ 5 ページに時刻歴 8 系
0:32:31	作りましたところでは
0:32:34	ほの振幅包絡線、
0:32:38	経時的変化等ランダム位相でやりますよっていうことを
0:32:43	そういった説明なってるんですけど、これこれを選んでる何か理由みたいなのがあればちょっとお聞かせください。
0:32:54	はい、東京電カスギモトでございます。この方法でやったというのは今までの審査でも一番用いてきている手法ですので、こちらを使ってやったと移送をいろいろ
0:33:08	検討するという内容もガイドの中に盛り込まれているというのはしよつちゅうはしておりますけれども、こちらについては、最終的なその基準地震動に反映す

	る場合に、この耐震設計に適用する場合にはやはりそういう複数なものを選ぶ。
0:33:23	市という来たいというふうに考えておりますので、まずは地震基盤口頭から引き上げるというところで何らか波をつくるという意味では一番これまで審査で適用実績のあるものを持っていたと。
0:33:38	結果として十分余裕があるレベルで包絡されてるというふうには考えてございますので、こちらで問題ないだろうというふうに考えてございます。
0:33:49	以上でございます。
0:33:53	はい、お考えを確認しました。
0:34:19	来設置規制庁サグチですけども、それでちょっと資料の中で幾つかちょっと確認をさせていただきたいんですけど。
0:34:26	順番に行きますけども、2 ページで、
0:34:29	これご説明あったかもしれないんですけど、聞きおくか。
0:34:33	もうちょっと
0:34:36	あくまでもこの記載ぶりかもしれないですけどね、荒浜側って、
0:34:40	この留萌で1から7を下回って書かれてますけど、これって1から7すべてを下回るんですか、それとも何か例えばSs1 だけを下回ってSs1にはちょっとまるるんだけど。
0:34:55	とか、Ss1 からSs-全部包絡したような要は包絡線について下回るとか、大湊側も一緒ですね、これ、Ss1 から7を一部の周期体では0って書かれてますけど。
0:35:10	これって、
0:35:11	全部Ss1 から7、全部が
0:35:15	一部の周期体で全部を一部の周期体で上回っているのかそれとも、例えばSs1 だけ、
0:35:25	上回っているのかとか、ちょっとそこってもう1回確認させてもらっていいですかって言うのと本当にこの記載でいいのかどうかっていうのも確認させてください。
0:35:36	ご周知承知いたしましたので機械がちょっとわかりにくくなっている部分もございますのでそこは
0:35:43	修正をさせていただきたいと思いますが、趣旨としましては先ほど申し上げました通りI からⅦの包絡形状に対して荒浜側については下回っていると大湊側は1分の周期体でその1から7の包絡形状を上回る

0:36:01	ましょ。具体的には 0.5 秒付近でしたけれども、こちらがあったので、設置圧として追加したというのが審査の経緯だと思いますので、そのご趣旨伝わるように期待を修正したいと思います。
0:36:16	サグチです。
0:36:18	そこはちょっと記載を適正化していただきたいんですけど、少なくとも私の理解だと、例えば大湊側っていうこれ確か完全にSs1に完全包絡されたと思うので、
0:36:29	あえてその全包絡っていうのを使うかどうかっていうのは多分私は既許可のときはあんまり全包絡って考えを
0:36:38	何かあったような気もするんですけど、ちょっとそこは、
0:36:41	ちゃんと、どういう考え方がっていうのわかるような形でちょっと記載をしていただきたいと思い
0:36:47	ちょっと引き続き 3 ページなんですけど。
0:36:49	基本的に何これ
0:36:55	地震観測。
0:36:58	支店の増設増設っていうんですかね。そういうのも含めて、
0:37:04	協会以降で結構たくさん観測記録。
0:37:08	られましたよ。
0:37:10	いうお話だと思うんですけど。
0:37:13	一方で、
0:37:15	じゃあ、地下構造の同定って、
0:37:19	何に使ってるかっていうと、10 ページ。
0:37:24	ですよ。
0:37:25	基本的には同同定というのが逆解析っていうのは 10 ページにある、これって別新設の観測点で得られたものじゃなくて、
0:37:35	もう古い 2004 年とか、
0:37:38	何か荒浜側の 2007 年の 1 月っていうのはちょっと微妙ですけど、少なくとも機器来許可より前前の実施で、
0:37:45	すよねっていうのと、
0:37:48	で、あくまでも今回
0:37:50	新しく得られた記録っていうのは、この 14 ページに示されているように、これ、確認程度のものなのか、新しく得られた地震観測記録も使って、
0:38:04	どうて
0:38:06	までされているのか、ちょっとその辺りを教えてください。

0:38:12	はい、東京電力スギモトです。到底につきましては何かおっしゃられた通りで、10 ページ目に示している地震を使って同定をしているということでございますのでこれ自体は
0:38:25	評価のときにもあった記録でございますので、こちらについてはこの手法を適用する上でやはりこの条件のいい記録を選んで買っているということとそれから最初に体育館からいただいたご質問でまたその評価の
0:38:42	評価のときに合ったモデルとのあんまり連続性みたいなのところもありまして、その当時静止していったモデルもこういった同じ近いこれに近い条件でですね、観測記録を選んで同定を行ってましたので、それと
0:38:56	全然違う記録使って同定してもそれでは全然違うモデルの策定になってしまいますので、そういったところの連続性も考慮しておって自体は置いた記録を使っていると。
0:39:09	おっしゃる通り検証につきましては、以深の記録これ全然別個な自信を持ってきて検証を行っているということでございますので、この最新の記録ではあえてそのより深部まで記録が得られているものを
0:39:26	て、このモデルの検証を行った結果、今回策定したモデルがより妥当だということを検討してございますのでここは最初のタニさんからいただいた御質問とも関連すると思えますけれども
0:39:42	前かかっているモデルに対して合いがどうかとそれから今回、
0:39:46	改めて設定したモデルに対して合いはどうかということまで検証を示す等より今回新しい記録を使った意味というかですね、あっちというかそこをご理解いただけるのではないかと思いますので、そこまで含めてちょっと
0:40:03	資料の修正のほう検討させていただければと思います。
0:40:08	はいサグチですけど。ちなみにその資料、資料の修正っていう話ですけど、実はそうその確認自体はもうされているのか、それともちょっとこれからするのか、今の
0:40:20	確認を踏まえてですね、ちょっとそこを教えてくださいんですけどというのは多分、今のコメント、
0:40:27	踏まえた形で今後、
0:40:34	やっていなかったのをやるのをつけ加えるっていうとちょっと話は変わってくるのかなと思うんであくまでも今はもうこれ、実はもう確認をして、資料だけではちょっと示していないんですけど確認はもうすでにやっていますっていうのはちょっと話は、
0:40:51	なんですけど、ちょっとその辺りを教えてもらっていいですか。

0:40:54	はい東京電カスギモトでございますおっしゃる通りで、この 14 ページ目のところなんですけれども、もともとはもともとあったモデルに対してこういう、新しい記録が得られて、こういう確認を行ったところ、
0:41:11	やっぱり平方が少し疑問があるところがあるということで、新たに同定を行うといった流れでもともと検討してきておりますので、そこも可能ですのでお答えと してもうすでにそこは確認していますので、
0:41:26	こういったところで資料に追加をさせていただきたいと。
0:41:30	考えます。
0:41:32	サグチです。わかりましたじゃもうすでに確認を行っているという形であれば、この 14 ページも来許可のモデルでやるとこうなんですよっていうの追加して いただきたいのと、あと、じゃあ同じような形でこれはもう確実にあるデータです ので、13 ページ。
0:41:48	で、
0:41:49	これは来許可のときの地下構造モデルもこれプロットっていうか、されてないと思 うんでここも比較のためにどうなってるかどうかどう変わっているのかそこもあんま り変わってないのかとかそういうのがわかる形で示していただきたいと思う。
0:42:06	あと、
0:42:07	確認なんですけど。
0:42:09	15 ページを見るとですね。
0:42:12	御シミュレーションによって良好に再現できているっていう
0:42:17	良好良好って難しいと思うんですけど、で、大湊側の特に短周期は比較的、今 回、
0:42:25	設定されたのがですかね、この赤の地下構造モデルが概ね再現するととも に、ちょっと地価構造てええと。
0:42:35	使ってやったほうがちょっと大きくなっていいのかなと思うんですけど、 荒浜側の水平方向って結構、
0:42:42	0.23 秒以下って、
0:42:45	観測等結構離れているというのが再現できてなくて、
0:42:51	もうちょっと、あくまでこれは私の感想なんですけど、そもそもなんですけど。
0:42:56	標高マイナス 300 メーターから 400 メーターより上というのは大体水平ええな あ。
0:43:03	形で、地層があったと思うんですけど、むしろ 400 メーターから 1km ぐらいのと ころが構造としてはこう褶曲完全に褶曲構造になっていてですね。
0:43:16	そう考えたときに、これはお考え方だけ。
0:43:21	お伺いしますけど、

0:43:23	そもそもの、
0:43:26	例えば1キロとかから今後400メートルって本当に一次元で
0:43:31	評価できるものなんでしょうか。
0:43:33	ていうちょっと考え方だけ教えてください。
0:43:40	はい東京電カスギモですとこの難しさはおっしゃる通り多少あるとは思っておりますけれども、
0:43:48	観測記録がですね多摩川特に10日新集めまして、これと合うかどうかという確認も行ってございましてですね、この12地震の中ではなかなかそんなに大きなばらつきもないようなことも確認をしております。
0:44:06	て、評価としては、間違っただけではないかというふうには考えております。今最終的な結果を見てもそこで使ってな状況では決してないというふうには考えてますので基準地震動としては余裕をもって設定をしていると。
0:44:23	いうふうには考えてございますので、そういった点からも評価としては妥当なものができるんじゃないかというふうには考えて、
0:44:36	はい、サグチです。なので結局おっしゃりたいことは観測記録。
0:44:41	から求めてますし、掛かん観測記録によく合っているんで、また多少なりとも例えばそういう褶曲の影響あったとしても、そこは何て言うんですかね。一次元で仮定してもいいというのが一時原則そういう影響も含めて、
0:44:59	どう同定とした地下構造を同定して地下構造の中に何ですかね、押し付けてるってのは言い方よくないかもしれないんですけど、そういう形で、実は、
0:45:10	完全なその一次元としての特性じゃないかもしれないんですけどそういうことも褶曲構造とかの影響も含めて、これはそういう地下構造、地震動評価としての地下構造モデルの評価をしている塗装、そういう理解でいいですかね。
0:45:27	東京電カスギモでございます。おっしゃる通り我々としてはそういった趣旨を伺いたい。完全にやっぱり一次元で説明できるとはをもっては言いませんけれども、観測記録と合うということでそういった影響も含めて法廷はできているというふうには考えております。
0:45:46	以上
0:45:50	はい、サグチです。考え方自体は確認できました。ありがとうございました。
0:46:11	規制庁の伊藤ですけれども、確認なんだけど、既許可のときはね、一次元で地下構造モデル。
0:46:18	新聞を作っただけでその速度構造で海のほうまで伸ばしたわけの中越沖のときの増幅がきちんと評価を再現できるのかどうなのかということまでやって人の図で再現できているから増幅率は別途、

0:46:36	地表で観測施設増幅率かけてあげればいいっていう整理そういう整理しているんだけど、これ新しく作った地下構造モデルで中越の再現はできてるんですか。
0:46:51	当東京電力杉本でございます。
0:46:56	以前のその審査のトピックにもSGF
0:47:00	のほうでEGFの検証ということはやってございます。そのときも、やはり
0:47:07	海の中越沖地震のの荒浜側の評価というところは十分にSGFでは表現できないと、そういったところも踏まえてEGFで地震動評価は行うんだというような整理をしてございますので、
0:47:23	そこと整合はないものというふうに考えております。あとはやっぱり今回留萌の炎
0:47:31	震源を特定せずの許可の評価と整合が重要だというふうにも考えてございます。その時にはそういった地下構造の影響があるというのはわかっているんだけどそこは震源を特定して策定する基準地震動のほうでちゃんと評価をしていると。
0:47:51	震源を特定せずのほうではそういったことも観測記録になっても含まれていることを踏まえて、留萌の基盤の地震動に対しても保守性を考慮して、震源を特定せず策定する地震動をSsハッチとするんだと。
0:48:09	パイオンが評価方針で評価をさせていただいておりますので、そこと整合がないようにという形で今回評価をしているということでございます。
0:48:27	規制庁なってるんですけどもEGFでやるっていうことについての判断の話を聞いているんじゃないかって、地下構造モデルを用いた解析的検討っていうのを複数手法でやっている中で、今の、当時、既許可で作った。
0:48:43	地下構造モデルでやると、増幅特性はきちっと比較的良い。
0:48:52	きちんと再現できますということを前提とした上でやってるんだけど。
0:48:58	今回の地下構造モデルは、
0:49:01	中越沖の増幅率なりは継承されているんですかって聞いてんだけど、してるかしてないから、どっちかなんだ。
0:49:08	どっちですか。
0:49:15	東京電カスギモトです。いった意味では中越沖地震の
0:49:20	増幅率というのは今回のモデルでは再現はできないというふうに思いますが、それは前回の損益許可のときも
0:49:29	当然二次元地下構造モデルですとか三次元地下構造モデルいろいろなモデルを使って検討させていただいて御説明を差し上げているというふうに考えますけれども、今回用いたその留萌と同じでSGFの位置付けベントナイトですけどもそんなこと聞いてんじゃないかって、

0:49:48	はい、許可のときには、地下構造を水冷同定した上で、それを海域のほうの褶曲のところでは海上音波とかで手伝って速度構造をそれに合わせて作り込んであげて、中越沖を再現すると増幅傾向が再現できるというのが皆さんの結論です。
0:50:07	違いましたっけ。
0:50:10	それは今回の地下構造でやって再現できるということで、
0:50:14	いいんですかって聞いていると。
0:50:26	すみません、当然できませんからね。
0:50:31	社長おっしゃっていないんですね、規制庁ですけども、もう少しマイクに近づいてお願いします。今全然聞こえてないです。
0:50:40	今、当然のヒキマです。すみません今おっしゃったのは多分理念の行動を置いてしっかり再現計算をお聞きして傾向が求まりますよっていうことを
0:50:52	以前は説明差しあげだったことに対してかと思うんですけども、それは結構高い向上を主力コード行けると。
0:51:01	ということですので、今回の方で今回はそれよりも上の部分ですので、
0:51:06	なんていうか、
0:51:08	この今回求めたところがそのまま当時の人間の行動に反映されるということはないと。
0:51:14	何か。
0:51:17	先ほどスギモトが何回か
0:51:20	申し上げたように、
0:51:23	所水平だと。
0:51:24	一次元構造で収益処遇地震の記録が再現できるという御説明は差し上げてないかと思っております。
0:51:35	はい。
0:51:38	ちょっと影響があるのかよくわかるけど、ありがたいと思います。
0:52:05	規制庁サグチです。すみませんちょっと細かいことですが確認させてください。11 ページとかで、
0:52:13	逆解析の短策間というのを、この赤の四角枠っていうか、
0:52:20	今回評価っていうとこなんですけど、これより上というのは一切来許可から変更してなくてそのままというふうを考えてよろしいです。
0:52:35	はい東京電力スギモトで来許可ではざっと解析に用いているモデルから変更はしてございません。
0:52:45	はい。わかりましたので8 地層これ8 層目以降を同定をしたという形。

0:52:54	ということで今理解はさせていただきました。ちなみに、12 ページとかで示されている。
0:53:02	この同定のときの、ちょっと細か条件なんですけど、これ今、多分これ示されているので、何らかのスムージングとかそういうのがかかっていると思うんですけど、実際に同定解析の
0:53:17	僕にはこういったスムージング処理をされた上で同定しているのか全くなくて生のままの形で同定をされているのか、ちょっとその辺りわかるんでしたら教えていただけますでしょうか。
0:53:38	東京電力スギモトです。すみませんちょっと今ここぱっと出てきませんので確認をさせて御回答ということで、
0:53:47	サグチです。わかりました、ちなみにこの 14 ページっていうのもこれスムージングがかかっていると理解してよろしいですね。
0:54:00	14 ページ目につきましては韓国記録複数ある中の平均をとって伝達関数を示しているということでございます。
0:54:13	ということは、観測記録のほうは、あくまでもこれ平均で示しているだけで特にスムージングとかかけずにやっているっていう形で伝達関数のほうも、じゃあ実際これはスムージングとか何もかけていない状態なままの状態ということでよろしいです。
0:54:41	東京電力スギモトです。すみませんちょっとここも確認ないのでちょっと確認をさせてちゃんと御回答させていただければと。
0:54:51	規制庁サグチですわかりましたじゃもよろしく願います。
0:55:06	規制庁の売れさせます超高例示のほうを少し確認しております。
0:55:11	ここへ対振動のほう入力
0:55:15	今回、記録も大深度しかないから、実際
0:55:20	標準クローズアップの入力位置まで他いところと認識してますね。
0:55:25	この間の検証とかで研修なんか計上されるかどうかというのを確認したい。
0:55:35	東京電力スギモトですCOCOご指摘なところはご最もではありますけれどもとって手法としては独立に評価をしているということで、記録があるところより上についてはこの同定が妥当であるということが確認でき、
0:55:53	いるということでございますのでその下についても同様であろうというふうには考えてございます。
0:56:03	考え方に理解しましてもう 1 点確認した先ほどヒキマさんも
0:56:11	もうおっしゃったんですが
0:56:14	確かに日健康に知見で口頭影響がありますから、ただし今回の
0:56:21	はい。

0:56:22	今回の深さ 3 が前回の例えば地震基盤の
0:56:27	何か補正不整形影響とか、また距離、深さまであるかどうかをわかるような通話し、
0:56:35	ほかに今検討されて、
0:56:37	このようなⅡがあればまだわかりやすいですが、
0:56:42	今回のほうがそのままぱっと見ると、
0:56:45	地震基盤 1000 個この地震基盤と中越沖の地震の地震基盤と、
0:56:51	何かイメージで同じになっちゃうから、どうしても産地原則 6 校と影響も指摘などではないかの何か先入観が出ますから、その辺のほうがちょっと
0:57:02	なんか検討とやって検討するかどうかをもっと説明必要あると思います。
0:57:11	東京電力スギモトです
0:57:14	コメントはありがとうございます。おっしゃる通りその少しその二次元地下構造の断面との今回の奥戸コードとかモデルの総割りというところの対応をお示した方が御理解がということだと思いますのでそういう御指摘だと理解しましたので、
0:57:32	そういった資料も追加するようにちょっと検討させていただければと思います。
0:57:45	すみません、規制庁のタジマです。
0:57:48	ちょっと私も似たようなご質問がちょっと重なって恐縮なんですけど、やはり地震基盤の設定というのが、やはり 2200 以上は、
0:58:03	なっているものの、その中で地震基盤相当面が地域によって、やはり
0:58:10	どこに設定すべきかというのが先ほどのウーからのコメントとかとも関連してあるんですけどその辺がわかりづらくて。
0:58:19	ちょっと認識とかあと場合によって背景とか理由の追加がちょっとお願いしたいと思ってるんですけど、
0:58:29	そうですね。何で地震基盤面からも増幅特性とか、その検討する場合の手法の種類とか、そういうのも特定してと異なったやり方でやってるという認識でまずちょっとよろしいですかというのをちょっとすみません私が背景に詳しくないもので、
0:58:48	まずそれを確認させていく。
0:59:02	東京電力スギモトですと
0:59:05	前回との議論食う大間口径処理をされて地震基盤相当で補正をされているところなので、その考え方がなかなか我々も難しいなと思ってるんですけど、
0:59:20	結局大分その深いあの柏崎のように深い地震基盤での観測記録を統計処理されて

0:59:31	地震基盤相当で一標準応答スペクトルとなっているわけではないということもあって柏崎ではそれを評価しようとするをやっぱ1になるわけですが、そこについては少し補正をする上でも難しさがあるなというふうには考えています。
0:59:48	前留萌の評価でいろいろ我々としては検討してきたところもございますので、そういったところとそごがないようにという形で今回は評価をさせていただいたというふうにご考えてございます。先ほどさんからいただいた二次元地下構造の断面なんかとの
1:00:07	対応というのはご指摘承知いたしましたので。そういったもあわせて御説明をさせていただくようにしたいと考えます。
1:00:17	以上
1:00:20	はい、ありがとうございます。なので
1:00:22	場所、大体平均的には日本で例えば一般的な地震基盤の3000と2200ぐらいでもあまり変わらないけれども、もし柏崎刈羽の場所においてはその地域性があるのだとすれば、やはり
1:00:37	特性というのがきちんと反映しておかないといけないように感じておりますので、その辺の背景ですとか、理由というのが、やはりそうですね、わかるような形で、資料作成いただきますと、
1:00:54	ちょっとわかりやすくなるかなと思いました。はい。以上です。
1:01:02	東京電カスギモトです。ご趣旨承知いたしましたのでちょっと御検討させていただきます。
1:01:28	規制庁サグチです。すいませんたびたびちょっとこれも、
1:01:32	記載の適正化。
1:01:34	という話になるかもしれないんですけど。
1:01:38	ちょっと教えていただきたいのは、
1:01:40	同定のときに、12ページですけど、これ。
1:01:46	P波のHオーバーVレシーバー関数コーダ部。
1:01:50	でありますけど、この観測っていうのはどこの位置というか、どの観測点を使われているのかって言うのがちょっとわからないので教えてください。
1:02:03	はい東京電カスギモトです。観測記録としては鉛直アレイそれぞれの地表の観測記録を用いており、
1:02:12	はい、サグチわかりましたありがとうございますのでちょっとそこはわかるように変え、変えていただくなりしたほうがいいかなと思うのと、なので結局地表の記録を
1:02:23	使っているんで、ちょっと先ほどから確認挙げましたけど、

1:02:29	例えば今の伝達関数で 15 ページとかで妥当性確認定されてますけど 14 ページから 14 ページとか 15 ページとか、あとシミュレーションで地表記録を使った一応が部位とかレシーバーかすなので、これは、
1:02:46	今例えば観測記録としては 1 キロぐらいまでのところしか、まああの地震計はないんですけど、それより深いところも含めて同定をしているんで、その中に深いところの影響も含まれているっていう、そういう理解でよろしい。
1:03:08	はい東京電波スギモトです。そこはおっしゃる通りだと思っております。
1:03:15	はい、規制庁サービスお話ありがとうございます。
1:03:18	ちょっと
1:03:20	もう等々というか私申し上げましたけど、15 ページでこれは、
1:03:25	お考えというのかな。
1:03:28	シミュレーションの解析結果って、その比較をされているんですけどこの地震を選ばれた理由っていうのはあるのかというのと、えっと他の
1:03:40	記録
1:03:41	例えば 14 ページで、
1:03:44	9 とか、
1:03:45	12 なんですかね、地震のこれっていうのは何か同じような確認っていうのはされているんでしょうか。
1:03:55	はい東京電力スギモトでおっしゃっていただきました通りそのまま良好との比較をしたかったのが荒浜側大湊側良好取れている記録ということで 901112 の中から一番規模の大きな地震を選んで今お示しさせていただいておりますけれども、
1:04:13	その他の地震についても確認は行ってございますので、
1:04:17	ここはまあ必要に応じてお示しをするようにしたいと思います。
1:04:22	はい、規制庁わかりません確認を行っているということですね。ちなみになんですけど、54 ページで、あくまでも妥当性確認っていう形で、
1:04:33	されていますけれど、
1:04:37	これ、大湊側って結局その妥当性確認でこの三つの地震記録しかないってことでよろしいですか。
1:04:49	まあ観測、東京電力スギモトでございます。港が観測期間が少し短いので、この所箇所だけ周辺地震活動が低調だということもありますので、得られている記録としてはこうですけれども、
1:05:05	荒浜変わってこの全部の地震を使ったときと大湊側と共通で得られている 30 人発表あったときの伝達関数の比較というのは確認をしてございまして、大湊側のほうではその 10 人地震使ったというと 30 新使ったとき

1:05:22	って大きく伝達関数変わるものではないというのを確認してますので、大湊が少し数は少ないですがオペの評価。
1:05:32	妥当だというふうには考えております。
1:05:36	サグチです。わかりました。そうそういう確認をされているということも一応確認はできてましてありがとうございます。
1:07:33	規制庁ナイトウですけども、言っとね、今日の説明資料の16ページが何を言いたいのか全然理解できないんだけど。
1:07:42	評価結構重要な評価結果とほぼ変わらず変わったのかわからない。
1:07:48	それに保守性を考慮した。
1:07:51	考慮して策定した基準地震動Ss施設を値を下回ることを確認したことから、本検討の地下構造も手書きかの基準地震動Ss8に与える影響はない。
1:08:04	これ何を言いたいんですか。
1:08:07	Ss8は、
1:08:09	今回の地下構造モデルを
1:08:12	採用することによって変わるんですか、変わらないんですか。
1:08:18	当然カスギモトでございます。すみませんややこしい御説明で申し訳ございません。結論としてはSs発注は変える必要はないというふうに考えてございますが、規制庁の田尻変える必要がないかどうかじゃなくて、Ss8は、今回の地下構造を採用すれば変わるのか変わらないのかどっちですかって聞いて、
1:08:38	ここは、
1:08:39	東京電カスギモトですね変更ございません。
1:08:46	今後説明をさせていただきたいと思いますが、従来の評価結果が黒の細い線で、
1:08:53	これ
1:08:54	地下構造モデルを用いて地盤物性の補正をした評価結果というのがこの従来の評価結果になります。基準地震動Ss発注はこれに保守性を考慮しましてケースバイをしますって、Fs-8という形で策定しておりますのでそれを上回るような形でやっているとハッチを策定している。
1:09:14	ということでございますので、今回のモデルを使って評価した結果は、
1:09:20	同じへの点々のほうになりますので、従来の評価結果を下回るような評価結果になってございますので、それに保守性を考慮したとしても、S8が変更する必要はない変更はないということでございます。
1:09:35	規制庁の後ですけど言ってるのが全然理解できないSs8の数字はデジタルちやう変わる変わらないとどっち。
1:09:42	今言ってるのは変わると言ってるよね。

1:09:45	あるけれども保守性があるから、
1:09:47	いいんですという説明されたんだよね。だからSs8 はデジタル値は変わるということでもいいんですね。
1:09:54	あと1 ペースハッチはですね、この評価の変更はございませんで、評価結果に対して保守性を考慮して、Ss8 というのを決めてますので、従来のへっ評価結果に対して保守性を見たのがSs8 でございますので、
1:10:11	この今回の確認を立てていただいて変更はないと。
1:10:21	はい。規制庁サグチです。ちょっと今の私の少なくともごめんなさい、理解なので間違ったら申し訳ないんですけど。なので、今回その計算上はちょっと
1:10:34	許可のときに出された評価ですよ、これはあくまでもSs8 ではなくて、震源を特定せず策定する地震動として策定した丸門は、
1:10:47	これを下回るんだけど、少なくとも既許可と同じような与えのところまで保守性を見込んで設定をするので。
1:10:57	Ss8 としては、
1:11:00	変更する必要がないと、そういう理解ですか、違ったらごめんなさい。ちょっと教えてください。
1:11:08	東京電カスギモトです。申し訳ございませんご丁寧に説明をいただきましてありがとうございます。おっしゃる通りの考えでございます。
1:11:20	はい、サグチです。んだったら、ちょっとそこがわかるような記載はしていただいてですね、少なくとも、
1:11:29	評価としては、むしろ
1:11:31	4 日後早期より補修的な保守的な考え方を持って設定をしているので整数 8 変更。
1:11:39	の変更する必要はないみたいなそう多分私の今、理解はそうそうだったのでちょっとそうすると今の書きぶりだとなんかちょっと誤解を与えるかなという気がしますので、そこはちょっと適正化をするなりしていただきたいと。
1:11:56	東京電カスギモトです。ご指摘ありがとうございます。ちょっとあの記載おっしゃる通り、非常にわかりにくい記載になってますので、淡々と御趣旨が伝わるように記載を修正させていただきたいと思い
1:15:30	規制庁ナイトウですけれどもね。結論としての部分でね設置変更許可は必要ないっていうか、Ssに影響はないっていう話は書いてあるんだけど、それをやるために、まず地下構造を変えて、
1:15:46	てるんですよ、地下構造を変えましたということでそれに伴って、
1:15:54	Ss8 についても計算上の数字は変わるけれども下駄履かしているなのでその桁可搬範囲内からSs8 の最終的な時代デジタル値は変わりません。

1:16:09	つうことなんですよ。
1:16:11	そこが、
1:16:12	どこが変わってどこが変わらないのかって、全然。
1:16:16	資料潮位読めないんで、そこを図るようにきちんと明示的に書いてもらえませんか。
1:16:21	皆さん、これをやるにあたって、
1:16:24	今まで来許可でやった考え方のどこを変えたんですかと書いてないんだったら書いてないっていうけど書いたんだったらどこ変えましたか前はこうなっていたものを今回はこういう形に変えました、どこが変わったどうかってのがわかるように戻して欲しい。
1:16:44	東京電力スギモトでございます。ご指摘承知いたしましたのこれがしっかりと明示的になるように修正をさせていただきたいと思います。
1:17:16	。
1:17:17	タニですけど他ないですかオンラインの参加の方も大丈夫ですか。
1:17:22	はい。規制庁タジマです。はい、ほかにはないです。
1:17:32	東電の方から何かありますか。
1:17:38	はい東京電力スギモトでこちらからとかございません。
1:17:43	はい規制庁刀禰です。それでは
1:17:47	これまた会合用にちょっと資料を追加したりっていうお話あったと思うんですけど、必要なデータを入れてもらって、
1:17:55	また資料。
1:17:57	できたら連絡いただくような形にしたいんですけど。
1:18:01	どれぐらいかかりそうですかね。今考えているような必要な資料を追加するっていうことに対して、
1:18:14	はい東京電力スギモトです。少し宿題、いろいろいただきましたので、少しお時間をいただければと思います。2週間か3週間からそれぐらいで作成をさせていただいてご提出とさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
1:18:34	はい。時間かかるんに3週間程度っていうことをおわかりましたので、まためどが立ちましたらどれぐらいに提出できるかっていうの連絡いただけたらと思います。
1:18:48	ほかになければいいというスギモト承知いたしました。
1:18:51	おります。
1:18:54	規制庁タニです。それではですね今日の面談を終わりたいと思います。お疲れ様でした。
1:19:02	ありがとうございました。